

令和4年度 第2回第6期松本市地域づくり市民委員会 会議要旨

開催日時 令和4年12月20日（火曜日） 午後3時から午後4時30分まで

開催場所 松本市役所本庁舎3階 大会議室

出席者（敬称略）

委員 降旗都子（委員長）、丸山宗志（副委員長）、永塚 博、鳥羽弘幸、山下京子、
塩島くるみ、倉澤 聡、櫻井美智代、赤羽 勝、田村貴以子、中島麻衣、平林 洸
（欠席：春日孝介、一ノ瀬知佐子、百瀬 壽）

事務局 地域づくり課 地域づくり課長 廣田圭男
地域づくり担当 係長 床尾拓哉、主事 太田晴香
市民活動推進担当 主事 小山雄聖

1 開会

（降旗委員長）

（事務局 太田）

- ・ 倉田委員の退任に伴い、本日付で松本市民生委員・児童委員協議会副会長の一ノ瀬委員に交代

2 あいさつ

（降旗委員長）

3 自己紹介

※ 第1回委員会欠席委員による自己紹介

4 会議事項（議長 降旗委員長）

(1) 「第6期委員会のテーマについての意見」について

※ 資料1P「第6期委員会のテーマについて」に基づき、鳥羽委員、赤羽委員、櫻井委員、永塚委員から説明

<丸山副委員長コメント>

- ・ 今回出された意見の共通点は「つながり」だろう。「つながり」にはさまざまな形があるため、一つ一つ考えていくことが非常に大切
- ・ 若手の定着は地域の課題であり、「多世代」という重要なキーワードも示された。
- ・ 子どもたちが地域に関わることで、地域にも子どもたちの成長にもメリットがある。このような考え方は、「つながり」を考えていく重要な切り口になるのではないか。
- ・ センター強化モデル事業を検証することも必要。共通点と相違点を探していけば、より発展的な課題を見つけることができる。

<質問・意見等>

- ・ なし

(2) 第5期委員会提言書について

（降旗委員長）

※ 資料3P「第5期地域づくり市民委員会提言書要旨」に基づき説明

<質問・意見等>

- ・ なし

(3) 第6期委員会の課題・テーマについての意見交換

※ 「第6期委員会のテーマについての意見」及び「第5期委員会提言書」の内容を踏まえながら、3グループに分かれて意見交換を実施

<各グループの発表>

Aグループ 山下委員 倉澤委員 田村委員 平林委員	<ul style="list-style-type: none">・ 興味関心によるつながりは、自然と似ている人が集まるため、地域づくりのきっかけにしていきやすい。・ 地域で熱心に活動していても、その実状が周囲に伝わっていないことも多い。PR方法の検討や、自分たちの活動が外部からどのように見られているのかを知ることが必要
Bグループ 永塚委員 鳥羽委員 降旗委員長 中島委員	<ul style="list-style-type: none">・ どれだけの市民がモデル事業の取組みを知っているのか疑問。事業の検証が必要だろう。・ 社協の取組みや福祉ひろば、公民館の連携等について、知らない市民が多い。・ 若者と地域とのつながりが必要。また、子どもを媒介に世代間をつなげることができるのではないか。・ コロナ禍で希薄化している、つながりの再構築が課題
Cグループ 塩島委員 櫻井委員 赤羽委員 丸山副委員長	<ul style="list-style-type: none">・ 提言に対する進捗状況を確認したい。取組みが進んでいないのなら、その原因を解明しなければならない。・ 地域のつながりを作っていくには、その地域に職員が長く在籍することが必要・ つながりの質がコロナ禍で変わってきている。オンラインでのつながりが増え、生の付き合いがなくなる原因になりかねないが、逆に新たな参加層を取り込むチャンスでもある。・ 若い世代は、SNS等を通じて同世代が発信する情報をより信用する傾向がある。今後、情報発信の方法も柔軟に考えていく必要がある。

<質問・意見等>

(倉澤委員)

- ・ 今期委員会のアウトプットをどうするかは、あらかじめ考えておいたほうがよい。
- ・ 実際の現場も見に行きたい。例えば中学校の授業に入り込むなど、そういったことができる面白。

(4) その他

(事務局 太田)

- ・ 自治会町内会講座への参加について
- ・ 今後のスケジュールについて

(以上)